



キミの可能性、世界が待っている。



知を求め、知を磨こう。

高校・大学受験 / 小1～高3生

創学舎

小中学部 / 大学受験部 / 個別指導部



創学舎の教育理念

目標は志望校合格

目的は自己学習能力の育成

塾生の自己実現に貢献

することを使命とします

お子様の成長を支援すること、これが創学舎の使命です

創学舎は、小学生から高校生までのお子様に来ていただいています。無限の可能性を持っているけれど、多感で影響も受けやすい年頃のお子様に対して、親身の指導を心がけてきました。

お子様の成長を支援すること、これが創学舎の使命です。学力の向上、志望校合格は学習塾としてももちろんのことですが、受験勉強を通して学ぶことの楽しさも知ってもらいたいと考えています。良い点数は取れても、その科目を学ぶことが嫌いになっては本末転倒です。お子様一人ひとりが、学ぶことを好きになり、自ら学び続け、受験を乗り越えて社会で力を発揮してくれることが一番の喜びです。

創学舎では、学ぶ楽しさを実感してもらうために、そして、自ら学び続ける力を育成するためにはどのようにすればよいか、目の前の嫌な勉強から逃避したくなる生徒とどう接すればよいか、一人ひとりの個性ある良さを伸ばし、生かすためにどこを直してもらえばよいかなどといった様々な観点から、講師の情熱と技術力向上に努めています。

創学舎は、学習指導・受験指導を通して次代を担う子どもたちの自己実現に貢献することを目指す、地域に根ざした学習塾であり続けたいと考えています。

目次

教育改革をふまえて	3
自己学習能力育成	4
生徒の学習意欲を喚起	5
創学舎メソッド	6
創学舎サポート	7
小学部	
小学4, 5年	8
小学6年	9
小学英語「レプトン」・読書教室「ことばの学校」	10
中学部	
中学1, 2年	11
中学3年・オプション講座	12
大学受験部	
大学受験講座	13
高校1, 2年	14
高校3年	15
個別指導部	
創学舎パーソナル	19
メッセージ	20
受験体験記	21

年間行事

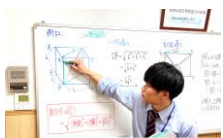
3月	・新学年開始 ・春期講習開始
4月	・模試(小4～中3) ・中1保護者会
5月	・定期テスト対策 ・小学生イベント「理科遠足」 ・中2保護者会 ・英検対策講座「パスポート」 ・模試(小4～中3)
6月	・漢検・数検・英検 ・大学進学相談会 ・定期テスト対策 ・保護者面談(小1～高3) ・小学生イベント「百人一首大会」
7月	・小学生イベント「短歌で短冊を書こう」 ・夏期講習開始
8月	・中3夏期教室特訓 ・模試(中3)
9月	・模試(小4～中3) ・中3日曜勉強会開始 ・中3保護者会 ・私立高校合同説明会 ・中3Vもぎ開始 ・定期テスト対策
10月	・模試(中3) ・英検対策講座「パスポート」 ・保護者面談(中3, 高3) ・漢検・数検・英検 ・小学生イベント「ハロウィーンイベント」 ・中3難関私立対策講座開始
11月	・模試(小4～中3) ・保護者面談(小1～中2, 高1, 高2) ・定期テスト対策 ・新中1保護者会
12月	・模試(中3) ・冬期講習開始 ・中3年末特訓
1月	・模試(小4, 小5, 中1～中3) ・新中1準備講座開始 ・私立高校入試 ・英検対策講座「パスポート」 ・大学入学共通テスト ・漢検・数検・英検 ・新中3保護者会 ・公立直前そっくりもぎ
2月	・模試(小4, 小5, 中1, 中2) ・千葉県公立高校入試 ・定期テスト対策
3月	・中3慰労会 ・中3卒業イベント ・新高1準備講座



3月
新学年開始



3月
春期講習開始



5月
定期テスト対策



5月
理科遠足



5月
英検対策講座「パスポート」



6月
保護者面談



6月
百人一首大会



7月
短歌で短冊を書こう



8月
中3夏期教室特訓



9月
私立高校合同説明会



9月
中3Vもぎ開始



10月
ハロウィーンイベント



10月
難関私立対策講座開始



12月
中3年末特訓



1月
私立高校入試



1月
大学入学共通テスト



1月
新中1準備講座開始



1月
新中3保護者会



2月
千葉県公立高校入試



3月
新高1準備講座

教育改革をふまえて

21世紀の社会を生き抜くために必要な能力は大きく変わります

なぜ、今、教育が変わるのか

21世紀の社会を生き抜くために必要な能力は大きく変わります。求められる力が変われば学校教育も変わります。そうすると、当然学力の「測り方」も変わります。これからは知識・技術だけでなく、思考力・判断力・表現力を重視した入試へと変わっていきます。

どんな改革が起こっているのか

- ① 学校教育が変わる＝新学習指導要領へ
- ② 大学入試が変わる＝大学入学共通テストへ

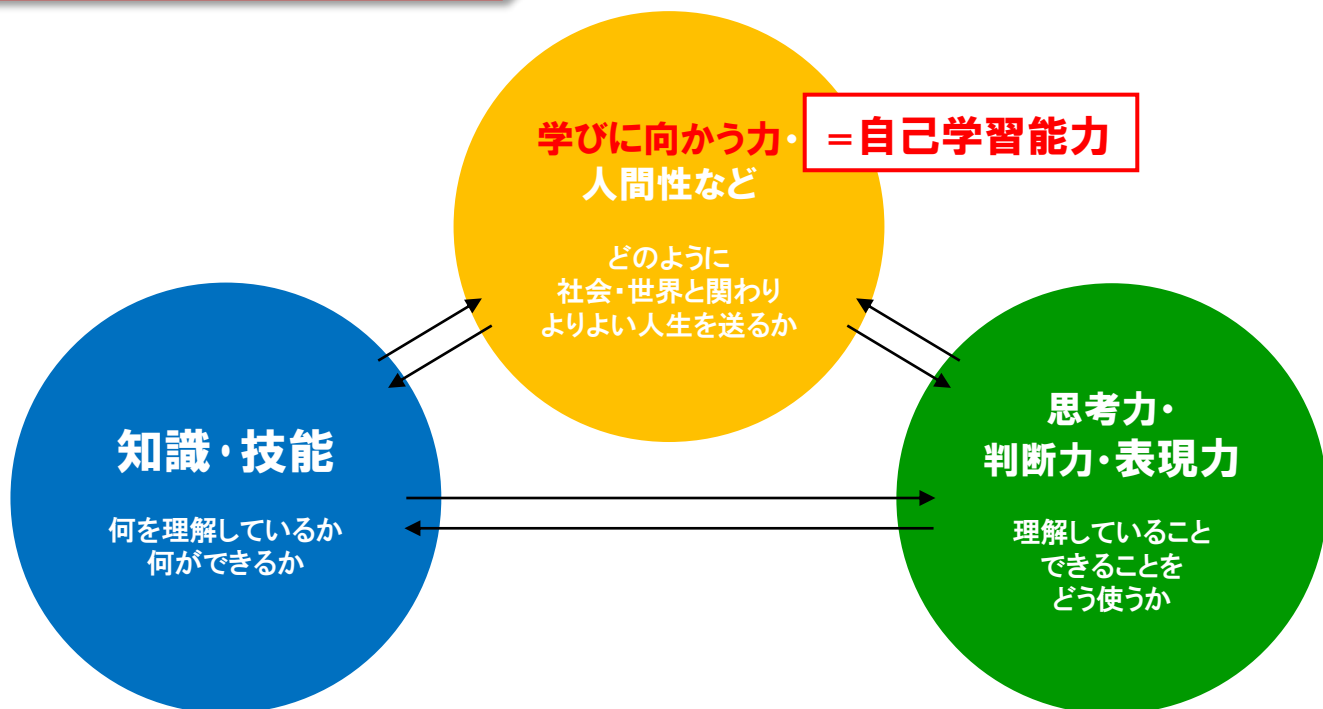
これまで

「学んだことをきちんと理解しているか（知識・技能）」の評価が大きなウエイトを占めていた

これから

知識や技能を習得するだけでなく、それをもとに「自分で考え、表現し、判断し、
実際の社会で役立てる」ことが求められる

育成を目指す資質・能力の3つの柱



自己学習能力育成は創学舎の指導目的
創学舎には長年の指導を通して蓄積してきた
自己学習能力育成のノウハウがあります

自己学習能力育成

計画的に学習を開始することが自己学習能力育成の第一歩

言われたことはできるけれど、それ以上のことはまったくできない。宿題をこなすだけで、それ以外は勉強しない。これでは実力が伸びません。自分から学習を進めること、これが理想的な学習です。こうした観点から、創学舎では様々な形で生徒の自立学習を促進しています。「どうすれば学習を継続できるのか」これは創学舎が最も悩んできたところであり、ノウハウを蓄積してきたところでもあります。「知らない間に勉強するようになり、いつの間にか勉強が好きになった」と言ってもらえるように、創学舎は日々努力しています。

正しいフォームの定着

鉛筆の持ち方、ノートをとるときの姿勢から指導

長時間、集中して学習に取り組める土台作りです。

ノートの使い方、ワークの取り組み方、宿題のやり方等、細かく指導

細かくノートチェックをし、不適切な部分はすぐに指摘。その積み重ねで少しずつ秩序が生まれます。そして、生徒はやり方が定着することで取り組みやすくなります。その結果…

定期テスト勉強に好影響

学習効果の高い受験勉強

第一志望校合格！

PDCAサイクルの確立

自己学習能力を身につけるために必要な「PDCAサイクル」
2020年大学入試改革に伴い、現在高等学校では改めて基礎学力定着のために「PDCAサイクル」の確立が掲げられています。

「P」(Plan:計画)	目標点等を設定し学習計画を立てる
「D」(Do:実行)	学習計画に沿って勉強に取り組む
「C」(Check:評価)	テスト後に反省点を明記する
「A」(Act:改善)	反省点をもとに次回に向けての改善点を明記する

創学舎ではこのPDCAサイクルをまわすために、様々なツールを活用しています。



「定期テスト対策授業」&「定期テスト対策勉強会」実施

定期テストは、3年間の学習を進めていく上で目標とすべき大切なものです。それまで学んだことの総まとめとして、抜けた知識を補う場として、学習量をこなす練習の場として、頭に入れた(インプット)ことを出す(アウトプット)訓練の場として…数多くの力をつけることができるものです。

創学舎では、定期テスト前には通常のカリキュラムを止め、「定期テスト対策授業」「定期テスト対策勉強会」を実施しています。講師の目の前で勉強してもらうことで、学習の進め方の指導も個別に行えます。字の書き方、ノートの使い方から始まり、ワークの使い方、解き直しの仕方など、一人ひとりの生徒に指導していきます。



第一志望校合格率の高さの秘訣「副教材」

創学舎の受験生は入試対策用教材「副教材」に取り組んでいます。これはただ問題を解けばよいというものではありません。取り組み方やノートの使い方、ペース等、学力向上のための秘訣が数多く散りばめられています。「緻密」に「丁寧」に「継続」して副教材に取り組んだ生徒は飛躍的に学力が向上します。



生徒の学習意欲を喚起

生徒のセルフ・エスティーム(自己重要感・自己有能感)を高め、学習意欲を喚起

自己重要感を高める

自己重要感とは「自分自身の存在を重要だと感じる気持ち」のことです。生徒の自己重要感を高めるために、様々なことを実践しています。その一部をご紹介します。

生徒一人ひとり、数多く承認する

登塾、下塾時の挨拶はもちろんのこと、様々な場面で声かけをしています。生徒の小さな変化を見逃さず、声をかけたり、話を聞いたりします。発問に答えられたとき、テストで好成績を収めたときに褒める等、様々な承認活動をしています。

定期的に生徒面談を実施する

生徒の現状を把握し、前向きに学習に取り組めるようにします。

教育コーチングスキルを磨くための研修会を実施する

「教育コーチング」とは、「傾聴」「質問」「承認」等のコミュニケーション技法を用いて、生徒自身の意欲・能力を引き出し、「自立」を支援する教育メソッドです。創学舎では定期的に教育コーチングスキルを磨くための研修会を実施し、現場での指導に活かしています。



自己有能感を高める

自己有能感とは「自分はやればできるのだと感じる気持ち」のことです。生徒の自己有能感を高めるために、様々なシステムがございます。その一部をご紹介します。

各教科、毎回「小テスト」を実施

小テストの結果は毎月集計され、その月の個人の平均点やクラス順位が出されます。努力が即結果に反映されます。

定期的に「公開模試」を実施

自分自身の実力を客観的、相対的に見ることのできる絶好のチャンスです。

漢検、数検、英検取得を支援

創学舎は漢検、数検、英検の準会場の資格を取得しています。各種検定試験は生徒の学習へのモチベーションアップに非常に効果的です。積極的にチャレンジしてください。

創学舎生の漢検目標級

中学2年	準2級
中学1年	3級
小学6年	4級
小学5年	5級
小学4年	6級

創学舎生の数検目標級

中学3年	3級
中学2年	4級
中学1年	5級
小学6年	6級
小学5年	7級
小学4年	8級

創学舎生の英検目標級

中学3年	準2級
中学2年	3級
中学1年	4級
小学6年	5級



※英検は公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です

創学舎メソッド

千葉県東葛飾地区で長年地域密着型指導をしてきた創学舎の指導を一部紹介

学力別コース、少人数クラス編成

学力別コース編成

創学舎では、学力別でコースを設置しているため、お子様の理解度にあった授業が受けられます。また、中学3年生のコースは各コース、公立・私立どちらにも対応できるカリキュラムとなっています。私立第一志望の方はもちろん、公立第一志望の方もそれに応じた私立高校は受験します。創学舎では、全コースで志望校に応じた私立高校入試対策を実施しています。

少人数クラス編成

小学部は1クラス10～15名程度、中学部・大学受験部は1クラス15～20名程度の少人数クラス編成です。1クラスの人数は、少なすぎても活気が出ず、多すぎても一人ひとりの面倒を見られないものです。創学舎ではこの人数がベストと考えています。座席は指定して、授業に集中できるように配慮しています。

学習効果の高い創学舎オリジナルテキスト

授業で扱うテキストは、全教科、ほとんどが創学舎オリジナルテキストです。創学舎の授業時間、授業スタイルに合わせて、現場で指導する創学舎の講師陣が独自に工夫してきたものです。入試の傾向や生徒の弱点を考慮して、問題演習や復習がしやすいように作られています。見た目は立派ではありませんが、内容は非常に優れていると学習塾業界では評判です。



自然に地頭(じあたま)が鍛えられる創学舎メソッド

教科書英文テストや百人一首の暗唱が驚異的な効果を発揮

我々が考える地頭のよさというのは、的確な判断や自己表現がしっかりとでき、他人とのコミュニケーションがスムーズに行える、そして、常に新しいことに取り組み、吸収していく能力があることです。その核となるのが「リテラシー(言葉を操る能力)」です。このリテラシーを高めるために創学舎では語彙力強化を重視しています。

創学舎では中学生全員に学校の教科書英文を暗記してもらい「教科書英文テスト」を実施しています。英文を何度も何度も繰り返し書いたり暗唱したりすることによって英語脳が作られ、その結果、覚えた構文が徐々に様々な形で応用できるようになり、いつの間にか長文読解を苦にすることがなくなっていく。この「教科書英文テスト」で鍛えられた数多くの創学舎生たちは、高校入試で抜群の成績を残すだけでなく、高校入学後も英語を得意科目にして大学入試に臨んでいます。

また、このノウハウを生かして導入したのが「百人一首の暗唱」です。長きにわたって多くの人々に愛され、暗唱されてきた百人一首を繰り返し何度も何度も暗唱することによって、日本語に関する様々な基本情報が徐々に吸収されていきます。気づいたら生徒たちの語彙力はどんどん高まっていくので、大変驚かされます。



教科書英文テストは今や創学舎の伝統文化



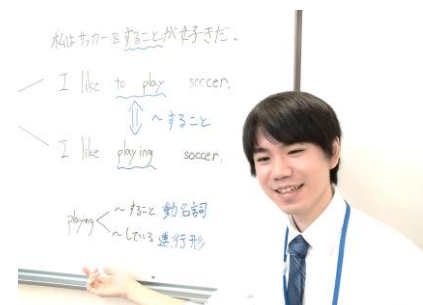
百人一首の暗唱で
楽しみながら
語彙力強化

英検対策講座「パスポート」

文部科学省から「『英語が使える日本人』の育成のための戦略構想」が発表されたことからわかるように、日本人の英語コミュニケーション能力の育成はまさに国家的課題となっています。この「戦略構想」の中で、学習目標として中学卒業段階で英検3級程度、高校卒業段階で英検準2級から2級程度の英語力が示されました。

創学舎では、中学英語の学力到達の目安として、また、中学卒業後も引き続き英語の学習を継続していく指針として、英検受験を重視しています。英検準会場の資格を取得し、英検対策として、英検対策講座「パスポート」を開講しています。たとえば、「パスポート3級」を受講すれば、英検3級に合格するまで1回の受講料で合格までサポートします。

※このコンテンツは公益財団法人 日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。



創学舎サポート

長年地域に根ざした創学舎が親身になって一人ひとりの生徒・保護者を全力でサポート

登下校メール配信サービス

昨今、子どもを狙った犯罪が多発しています。外出中のお子様が「今どこでなにをしているのだろう?」と保護者の皆様はご心配が絶えないのではないのでしょうか?

創学舎では、そういった保護者の皆様の不安を解消するために「登下校メール配信サービス」を導入しています。こちらはお子様の登下校時間を保護者様にリアルタイムでメールにてお知らせするサービスです。

また、創学舎からのご案内や緊急のお知らせもこのメールシステムを使用し、保護者様にお知らせしております。

いつでも気軽に使える自習室

小学生から高校生まで様々な形で利用

空調の整った自習室が各教室に完備されています。休業日以外ならいつでも使えます。宿題忘れが続いている生徒は自習室に呼び出されることも…。

自習室を利用している生徒たちの声

- 授業が終わった後、親が塾に迎えに来るまで、自習室で宿題を片付けています。(小学6年女子)
- 定期テストの前はいつも利用しています。家だと弟がうるさくて集中できないので助かります。(中学1年女子)
- ほぼ毎日自習室に通っています。わからないところがあっても先生に質問ができるので、効率的です。(中学3年男子)

丁寧なカウンセリング制度

定期的に生徒面談、保護者面談実施

創学舎では、生徒の現状を把握し、個別にご相談に応じたり、アドバイスをしたりするために、定期的に「生徒面談」「保護者面談」を実施しています。もちろん必要に応じて、面談期間以外の日でも面談を実施しています。

学習状況を個別にチェック！一人ひとりに対してきめ細かい指導

知識を効率よく身につけ、得点力をアップするために、鉛筆の持ち方、字の書き方、ノートの使い方、復習の仕方、定期テストの準備の仕方、模試への取り組み方など、伝えたい創学舎独自のノウハウがたくさんあります。これらは小学生のうちから伝え始め、中3までに完全につかんでもらいます。受験前には、志望校の過去問を個別にチェック。設問ごとに細かい指示を出します。

毎月様々な資料をご家庭に送付

創学舎では毎月様々な資料を各ご家庭に郵送しています。その一部をご紹介します。

◆月次報告◆

毎月のお子様の学習状況が客観的に一目でわかります。出席日数や宿題の提出状況、各科目の小テストの平均点やコース内順位等が記載されています。

◆創学舎ニュース◆

創学舎の講師陣が原稿を書いています、非常に好評をいただいています。これはホームページにもアップされていますので、是非ご覧ください。

豊富な受験情報と親身で的確な進路指導

保護者会開催

小6から中3までの各学年で「保護者会」を開催し、最新の情報をお届けいたします。

私立高校合同説明会開催

創学舎では、毎年千葉県をはじめ、東京都、茨城県、埼玉県、私立高校の先生方をお招きして「私立高校合同説明会」を開催しています。私立高校の先生方から直接お話を伺う絶好のチャンスです。ぜひ受験校決定の一助に、また受験勉強の動機付けにお役立てください。

大学進学相談会

6月には、創学舎も加盟している千葉学習塾協同組合主催の「大学進学相談会」が催されます。千葉大学、筑波大学、早稲田大学をはじめ、GMARCH全大学等、主要大学約50校が参加。大学担当者から直接最新情報が手に入ります。

創学舎の保護者会は各教室開催！そのメリットはこちら！

- 足を運びやすい。
- お子様を指導している講師が説明するため、説明に説得力がある。
- 教室周辺の中学校の情報が得られる。
- 教室内に入ることによって、お子様の学習状況が確認できる。
- 質問や相談が気軽にできる。



小学部

高校受験で最大限の力が発揮できる学力をつけることが目標

昔から「読み、書き、そろばん」といったように、小学生で身につけるべき学力はその後の学習の基盤となります。たとえば、算数・数学も、英語も、理科も、社会も母語である日本語で考えます。そのためには、音読、読書はとても大切です。また、計算を手で行うこと(暗算も含んで)は、計数能力を身につけるためにもとても大切なことです。計算はやり方が分かったからそれでいい、というものではありません。繰り返し、繰り返し行うことで、計数能力が育まれていくのです。

創学舎の小学部は、公立中学に進んで高校受験で最大限の力を発揮できる学力をつけることが目標です。ここで本当に役立つ力は、次の5つです。

① 本当の計算力 ② 漢字力・言葉の力 ③ 文章を読む力 ④ 学習姿勢 ⑤ 考える力

まず、この5つの力を身につけてもらうために、きめ細かな指導を展開しています。知識を蓄えていく中で、興味・関心・知的好奇心も育っていくものだと考えます。大人になっても役に立つ「学びの基盤づくり」。そのための能力開発には積極的に取り組んでいきます。

小学4年

◆小4国語◆

小学4年になると、少しずつ言葉の知識が増えてきます。それに伴い、読書することのできる本も増えていきます。ご存知のとおり、読書は単に語彙力を高めるだけでなく、子どもの世界観を広げます。また、読書をすることによって、落ち着いて何かに取り組む姿勢、集中力の持続なども得られます。創学舎では、授業を通して、音読の楽しさ、読書の面白さを様々な形で伝えていきます。

◆小4算数◆

小学3年生までとは違い、たし算、ひき算、かけ算、わり算のほかにもそれを利用した計算の工夫などを学習していきます。また、整数だけでなく、小数・分数の概念も導入され、小学校高学年の学習に必要な基礎を学びます。創学舎においては、小学4年生で学習する内容を定着させるだけでなく、教科書以上の内容にもチャレンジしていきます。さらに、なぜそうなるのかを考えることに注目し、途中経過の書き方などノート指導を含めた授業を展開していきます。



小学5年

◆小5国語◆

小学5年になると、少しずつ難しい言葉も出てくるようになります。今後の学習の基盤となる、学習の仕方をしっかり身につけるときです。漢字を覚えること、辞書をすばやく引けること、速く正確に音読できること、一文の内容をしっかりと理解すること…。すべて毎日の学習の積み重ねが大切です。創学舎では、授業・宿題・漢字テストを連動させて、まず基礎技能の習得を目指します。

◆小5算数◆

近年の小学生の計算力は昔と比べると大きく低下しています。文科省の発表とは別に、現場で教えている者は誰でも肌で感じていることです。計算の仕組みを理解させても、計算力はつきません。反復練習によって身につけることができるのです。創学舎では高校入試・大学入試を考えた上で、計算のやり方、式の書き方を徹底的に指導します。特に、途中の計算をしっかりと正確に書くことは軽く考えられがちですが、中学・高校と数学を学ぶ上では一番大切なことです。創学舎は、目立たないけれども数学を学ぶ上で大切なことは、妥協せずに指導します。

◆小5英語◆

アルファベットの習得・フォニックスの運用等、英語学習の導入段階から丁寧に指導します。小学校で導入される新教科書には多種多様な表現とかなりの数の単語が掲載されていますが、創学舎では、理解と定着を目指し、学習量を限定して反復練習を徹底して行います。「読む・聴く」「書く・話す」の四技能の基盤となる英文の構造を理解し、体得した上で、次の学年・中学において、表現の量を増やしていきます。英語嫌いにさせない、「自分にもできる、次もチャレンジしたい」と思える学習サイクルを生み出します。

小学部

高校受験で最大限の力が発揮できる学力をつけることが目標

小学6年

◆小6国語◆

言葉を通して考えや知識を伝えること、これは人類の偉大な発明です。そして、一人の人間として生きていく上でも、なくてはならない能力です。小学生のうちにこの技術を身につけることは、今後の人生において大きな影響を与えるでしょう。そのために、漢字・語句・ことわざ等の豊かな言葉の力をつけること、そして、文章の意味を理解することが必要です。創学舎は、そうした地道な努力を応援し、さらに読書で自分の世界を広げていくことを応援します。

◆小6算数◆

計算をはじめ、割合、図形と中学で数学を学習する上で大切なものがあります。ここできちんと定着させておかなければいけません。字の書き方、式の書き方、ノートの使い方の指導を通して、中学数学の論理性を支える下地を築きます。そのためには、たとえば、掛けて間違えたから割ってみるというのではなく、なぜここではわり算なのかを、わり算の意味に戻って納得する、ということも大切なことなのです。創学舎の算数は、ただの公式主義ではありません。創学舎は、指導要領にとらわれず、中学数学を学ぶ上で必要なことをきちんと教えます。コースによっては、高度な内容まで教えることになります。

◆小6英語◆

小学校で使用される新しい教科書では、単語の数や扱われる表現が驚くほど増えています。しかし、創学舎では、数・量の追求ではなく良質な英文への習熟、表層的な知識の習得ではなく本質的な体系理解を目標にしています。「読む・聴く」「書く・話す」の四技能のバランスと新しい入試システムに対応する力を養うために、小学生のうちにできる「英文を正しく訳す力、正しい英語を表現する力」に注力して、無理なく中学英語への橋渡しを図ります。消化不良では終わらせない、英語嫌いにさせない、「分かる⇒できる⇒手ごたえを持つ」という自己有能感を養成するサイクルを作ります。

百人一首暗唱

創学舎では小学生に百人一首の暗唱に取り組ませていますが、一番の目的は語彙力強化です。百人一首に選ばれた歌人は当然優れた歌人ですから、その表現の技術や言葉の感覚も一級品です。日本語の持っている心地よい音の調べ、品格のある語句の使い方などに小学生のうちから触れてほしいと思っています。

また、日本人は頭の中で思考する際、当然日本語を用いて思考します。ですから、語彙力が不足していると、当然思考の幅が狭くなります。しかし、言葉の知識が広がると、それに比例して、様々な考えが広がり、より論理的な思考ができるようになっていきます。さらに、言葉の知識が広がると、様々な表現ができるようになります。そうすると、自分自身の中にある、複雑かつ繊細な意見や感想を相手に存分に伝えることができるようになります。自分自身の思いをより正確に伝えられる表現力・コミュニケーション能力を向上させることもできます。

創学舎では、読書の習慣はもちろんのこと、百人一首暗唱の習慣も重要視して、生徒たちの語彙力が少しずつ向上されることを願っています。

小学生のために様々なイベントを開催



百人一首大会

毎年6月に柏教室で開催。日頃百人一首暗唱で鍛えた力を存分に発揮します。毎年大盛況です！



短歌で短冊を書こう

百人一首暗唱によって豊かになった語彙力を生かし、五七五七七の短歌で願い事を短冊に書きます！



ハロウィンイベント

英語教育の一環として始めたイベントです。普段見られない創学舎の講師たちの仮装姿は必見です！



理科遠足

小学生の知的好奇心を育てるイベントです。生徒たちは目を輝かせて実験等に取り組んでいます！

小学英語「レプトン」(小学1年～6年対象)



現在の英語教育現場では、英文を「読む」「聴く」という受信能力に加え、実際に英文を「書く」「話す」という発信能力を含む四技能をもって、英語の標準的な学力とする指導が行われています。一部の大学や高校の入試でも、英語を「書く」「話す」能力を測るために外部試験(※民間検定の利用)を導入するケースが増えていきます。

このような社会の動きに対応するため、創学舎の小学英語では四技能を養成する英語講座「Lepton(レプトン)」を導入しました。「Lepton」は、お子様一人ひとりが専用音声教材を用い、「読む・聴く・書く・話す」それぞれを自分のペースで学習し、チューターサポートで習熟度・定着度を確認するインプットとアウトプットを両立した自立型学習システムです。(詳細はこちらでもご覧いただけます。 <https://www.lepton.co.jp/about>)



ネイティブの音声を聞き、書き取る練習をします。意味を理解しながら聞き取る力が身につきます。



ネイティブの音声を聞き、声に出してくり返す練習を何度も行います。その後、先生に発音をチェックしてもらいます。



会話文や物語文を読み、内容に関する英語の質問に英語で答える練習をします。図表・地図などから必要な情報を読み取る練習も行います。



テキストの単語や文を書き写したり、語句を並び替えて文を作ったりします。上級レベルでは、文法も学習します。

読書教室「ことばの学校」(小学1年から受講可) *柏教室のみ開講

本は読んだ方がいいのは分かるけれど、家庭で本を読ませるのは難しいし…とされているなら、ぜひお試しください。今まで一度も本など読んだことのない子でも、ずっと読み続けられます。なぜなら、それは「読み聞かせ」だからです。通常より速いスピードで朗読を聞きながら本を読みます。耳から音が入ることで、集中して本を読むことができます。集中した時間を作ることで集中力を養う訓練になることはもちろん、気持ちが落ち着いてきます。通常の速さの3倍、4倍の速さで聞くことで右脳の活性化にもなります。もちろん、読むスピードは速くなり、ことばも豊かになります。一石三鳥にも四鳥にもなる読書教室です。受講生のなかには、週に2冊本を読む子が増えています。柏教室で開講していますので、お気軽にお問い合わせください。

「読書」の効果

☆本が好きになる

- 本に対して苦手意識がなくなり読書を楽しむようになる。
- 図書館で本を借りるようになる。
- 学校や書店でも文字の多い本を選ぶようになる。

☆読む力がつく

- 本を読むことで多くの言葉を覚え、読解力がつく。
- 漢字も読めるようになる。
- 長い文章に慣れ、長文も楽に読めるようになる。

☆感受性が豊かになる

- 名作に触れることにより、情緒豊かな心を育てる。

「速聴」の効果

☆集中力がつく

- 長時間じっと落ち着いて読書ができるようになる。
- 普段の学校や塾での授業中もキチンと座って学習し続けることができるようになる。

☆脳の処理能力が上がる

- 考えるスピードが上がり、判断力が速く正確になる。
- 学習内容の吸収がよくなり、国語のみならず、他の教科の成績も上がる。

☆聞く力がつく

- ゆとりをもって人の話が聞けるようになる。
- 中学校での英語のリスニングの成績が上がる。



さあ今こそ
読書を楽しみ!!
読むとくメソッド
ことばの学校

中学部

「管理」から「自律」、「自律」から「自立」への大切な移行期間

小学生のときは言うことを聞いたのに、中学生になったら聞かなくなった、という声をよく聞きます。確かに、中学生は難しい時期です。子供から大人への脱皮が始まり、身体的特徴が発達したり、自己と他者の違いについて考えたり、自分のわがままを押し通してみたり…。また、学習面では小学校より一段と難しくなり、抽象性もアップします。

そうした中で、創学舎は、一人ひとりの子供の良いところを引き出すことを第一に考えます。勉強に取り組む姿勢をつくり、人の話がきちんと聞け、目の前のやるべき作業に集中して取り組むこと。創学舎の授業では、授業の1時間1時間を、一瞬一瞬を大切にしています。一人ひとりの気持ちを大切に感情交流をはかりながら、気持ちを勉強に向けてあげることを、粘り強く実践しています。

集団で一斉に取り組む授業には、競争心が湧いたり共に頑張り合う仲間意識が生まれたり、素晴らしい面があります。創学舎ではそれに加えてノートチェックや英文指導を個別に実施し、個別に語りかける場面を作り出しています。

高校入試に向けては、受かる学校ではなく進学したい学校をはっきりさせ、できる限りの受験勉強をしてもらいます。創学舎は、そのためのノウハウを豊富に蓄積しています。1学期は部活動もあり、まだまだ受験勉強を中心にするわけにはいきませんが、夏からは夏期講習があり、受験モードに入ります。2学期からは1学期よりも授業時間も増え、公立入試対策・私立入試対策を実施します。宿題をただこなすだけの勉強から、自主的に先に進める勉強への橋渡しをしていきます。

中学1年

◆中1国語◆

国語の力をつけるには、できるだけ良質な言語生活を送ることです。知らない言葉が出てくれば調べて覚える、面白い文章や本は繰り返し読む、普段の会話でもきちんとした日本語を話す、といったことの積み重ねが大切です。授業では漢字テスト・文法テストなどを行い、知識の定着を図ります。

◆中1数学◆

中学1年では、今後の数学の柱である「正負の数の四則計算」「文字式と方程式」の単元を最初に扱います。問題を解いたり考えたりするには、確実な数の操作が必要です。そのためには、この単元の理解と定着が欠かせません。それも、理解だけではだめなのです。「手が動く」ようになるまで徹底的に反復練習することで、応用力・論理力も身につくのです。

◆中1英語◆

受験において重要科目であることに加え、実社会でも英語の必要性はさらに高まっています。最初からつまづくことなく英語を学習していくために、正しい勉強法を身につけることに重点をおきます。特に、教科書の英文を完全に暗記し、正確に書けるようにすること、これが第一の目標です。

中学2年

◆中2国語◆

「英語などの外国語は、母語の学力を超えられない」とよく言われます。この母語の学力をつける上で、「普遍」「存在」といった抽象語句を理解し、使えるようにすることはとても大切なことです。中学2年になると抽象語句を多く含んだいわゆる論説文が増えてきます。創学舎では一つ一つの言葉を大切に、中3で入試問題を解く際の足腰を鍛える時期とします。

◆中2数学◆

中2の数学は、「連立方程式」「図形の証明」「関数」が導入される、中学数学の核ともいえる内容です。今まで以上に計算力、論理的思考が要求されます。しかし、創学舎では、そのための特別なことは行いません。それは、問題が難しくなればなるほど、計算・答案の書き方といった「原理・原則」が大切になってくるからです。創学舎は、「原理・原則」を徹底して習得させます。

◆中2英語◆

英語は、学年が進むにつれて習う事柄も多く、内容も高度になります。中3では中2で習った事柄を応用・発展させていく項目が多いので、その意味でも中2の英語は非常に重要です。生徒にとっては「丸暗記」の方が楽ですが、創学舎では「理解して覚える」ことを要求します。理解することで、応用力も養われます。

中1, 中2 理科・社会

理科・社会は国数英の3科目とは違い、各中学校でカリキュラムが大きく異なります。そこで、創学舎では各中学校の現状をふまえ、各教室で様々な形で中1、中2の理科・社会の授業を実施しています。



中学3年

◆中3国語◆

国語の勉強でもっとも大切なことは、「国語は勉強すれば必ず伸びる」と信じて勉強することです。国語で一度きちんとした読解力をつけてしまえば、生涯役に立つ読解力が維持できます。そして、読解力の土台があつてこそ、作文・小論文といった表現力が求められるものを書けるようになります。創学舎では、確固とした読解力を身につけるため、基礎となる漢字や語句の意味、慣用句といった知識はもちろん、文章に真剣に取り組む姿勢を伝えています。

◆中3数学◆

数学は、解法の「原理・原則」を覚えて正しく活用することが大切です。ただ、高校入試では残念なことに、答えが合っていれば○になる試験が大多数です。しかし、創学舎では、答えが合っていればいい、という指導とは一線を画します。途中経過すなわち答案を書く指導を重視しています。それによって、簡単な問題(基礎)を解けることが難しい問題(応用)を解くことにつながるのです。また、家庭での自立学習も手厚くサポート。数学を継続して学ぶことで受験を突破する力を養います。

◆中3英語◆

中1からずっと続けている教科書の英文暗記は、英検対策・高校受験はもちろん、大学受験の英作文でも役に立つものです。受験学年となる中3では、夏までに中学3年間の内容を終わらせます。私立入試では高校の内容まで出題されるため、コースによって文法事項は高校2年相当の範囲まで扱います。夏期からは長文を含めた演習を実施、受験での得点力を磨きます。オリジナルテキストが力を発揮します。

◆中3理科◆

理科は、単元によって内容が分かれているため、一つ一つ積み上げていけば学習効果が出やすい科目です。1学期は中3の内容から入り、夏期講習以降では授業時間も増やし、中1、中2の内容も総復習していきます。授業では1単元ずつ扱い、できるようになってから次に進めます。授業と宿題を連動させた積み上げ学習で、効率よく知識を身につけてもらいます。

◆中3社会◆

1学期は歴史を扱い、夏期講習からは公民を進めます。創学舎の授業ではただ用語を覚えるのではなく、それぞれの用語の意味、他の事項とのつながりに配慮します。そして、オリジナルテキストを用いて、何を覚えるのかを明確にし、覚えてもらいます。生徒たちが肌で感じられる知識の一つでも増やしていくことが、多くの知識を身につける近道です。

オプション講座

◆夏期教室特訓◆(3科)

中3生が志望校を決める際に大きな指標となる9月以降の模擬試験でしっかり結果が出せるよう、8月中旬に開講する特訓講座。この講座は、多くの受験生が苦手にしていく単元を扱う講座です。集中的に苦手分野に取り組むことで弱点克服ができるので、非常に充実した講座となっております。

【今年度】1日45分×9コマ×3日間

◆難関私立対策講座◆(英数/英数国 選択)

私立難関校を受験する生徒を対象とした講座。私立難関校受験向けに精査された演習問題を通して「問題へのアプローチ法」「時間配分」「入試問題の解き方」等を訓練します。

【昨年度】(英数)1日45分×4コマ×7日間

(国語)英数の日程+1日45分×3コマ×2日間

◆年末特訓◆(3科)

私立高校の入試が目前と迫る年末に受験生の学習リズムが崩れないように、そして、私立入試で得点力向上につながるようにするための特訓講座。世間の喧騒から受験生を切り離し、受験勉強に徹底的に向かい合わせる場として非常に有効な講座です。

【昨年度】1日45分×10コマ×3日間



大学受験部

小中学部で学んだ高校生たちが集う学び舎

受験生の悩みに応える創学舎

こんな悩みがありませんか	⇒	創学舎では	
授業は一斉講義で一方通行	⇒	1コース15～20名の少人数制で個人の理解を踏まえた授業。	定期的に質問教室があります。
質問がしにくい	⇒	授業中もその前後も直接質問できる。	
チューターの指導があいまい	⇒	授業担当者とOBが団結し親身の指導。	学期に最低1回の個人面談もあります。
勉強法が分からない	⇒	各教科、やるべきこと、やり方が明確！ 創学舎で開眼する人が多い！	各教科に課題があって達成目標を決めます。
雰囲気がかたい	⇒	アットホーム！でも互いの迷惑にならぬ厳しさも！ 自習室は私語厳禁！	
やるかやらないか本人任せ	⇒	やるのが創学舎に入る条件！ やれるように引っぱります！	さらに兄弟姉妹同時在籍は金額の低い方を1/2、3人目は1/4。
ひたすら多くの科目を受講させられる	⇒	できるだけ省エネ。自力でできるものは自力で！	
授業料の問題	⇒	教科数が増える程負担が軽くなる。	
部活生は両立がきつい	⇒	最後までやりたいでしょ？ 時間帯等最大の配慮をします！	3月スタートですが、途中入塾者多し。未習部分のフォローもします。
精神面のフォローがない	⇒	実はこれが大学受験指導の最大のポイント！ そして、これが私たちの一番の仕事！	
本当に行きたい大学があるが、偏差値が低くて相談しきれない	⇒	まずはその大学名を言うってもらうことから私たちの関係が始まります！	
小テストがなくて暗記が進まない	⇒	英単語、熟語、古文単語等の暗記物は小テストで応援！	行きたい所があればそれを宣言しなければ。それが夢に向かうことです。
途中入塾だと未習部分はそのままなのか	⇒	心配いりません。未習部分については十分なフォローをします。途中入塾者、転塾者もきちんとついていきます。	

大学受験講座

- ◆対象◆ 高1、高2、高3
- ◆授業形態◆ 一斉授業/完全単科制で1科目からの受講可
- ◆開講科目・授業時間数◆ 右記参照
- ◆特別プログラム◆
 - 【バックアップ講座】
英語・数学・古文に関しては、途中入塾者の未習部分をフォローするためのバックアップ講座を設けています。
 - 【定期講習】
▶「新高1準備講座」…3月に新入学生を対象にした講座を開講
▶「季節講習」…全年対象に開講
 - 【共通テスト対策講座】
入試直前には高3生を対象に共通テスト対策講座(現代文・古文・漢文)も設けています。(p.18参照)
- ◆定期テスト対策◆
定期テスト中は授業の進行を止めて、全て質問教室に切り替えます。30校以上の高校から生徒が来ているため、一斉授業での対策はせず、OBや講師を総動員しての質問教室となります。基本的に数学・理科はほぼ全て対応します。英語は全訳予想問題つきのワークが購入できます。他教科についても相談に乗ります。
※二期制の学校は数が少ないため、5日間程度になります。
※なお、テストのない学校は別メニューで授業を行います。

高1	英語	75分×1/週
	数学	75分×2/週
高2	英語	75分×2/週
	数学	75分×2/週
高3	英語	75分×2/週
	数学ⅠA・ⅡB	75分×2/週
	数学ⅠA	75分×1/週
	数学ⅡB	75分×1/週
	数学ⅢC	75分×1/週
	現代文	75分×1/週
	古文	75分×1/週
	化学	75分×1～2/週
	物理	75分×1～2/週
	日本史	75分×1～2/週

高1, 高2授業紹介

◆英語◆

[1] 授業進度

創学舎の英語は、高1で英文法全範囲に渡って基本を終え、高2の1年間で受験英文法と構文を終了させるカリキュラムです。このカリキュラムは、高3から入塾する生徒たちが半年かけて学習するものとまったく同じ内容です。それを1年かけてゆっくり確実に仕上げます。これは、東葛飾、芝柏、県立柏高校をはじめとして、ほとんどの学校が高1・高2の段階で英文法を一通り扱っている(しかも受験レベルの一手前まで)ということを考えてのことです。そこまで学校でやるのなら、もう少し足して受験レベルまで持っていこうと考えています。高2の段階で英文法と構文が仕上がっていれば、受験勉強は断然有利になります。従って一定の課題が義務付けられます。

[2] 英語学習の柱…文法・構文・単熟語

英語の学力を伸ばすためには、文法、構文、単熟語力の養成がバランスよくなされることが必要です。創学舎では夏期講習前期まで、項目ごとに細分化したテキストで基礎力を養成し、夏期講習後期から、総合問題の得点力を養成するカリキュラムを組みます。カリキュラムに従って、テキストと副教材を処理していけば、確実に学力が伸びるはずです。

[3] 文法体系の完成

予備校の授業は、大量の問題を処理し、その問題ごとに解説を加える形式が中心ですが、これでは本当の文法力はつきません。文法一つひとつの項目について、根本的な理解があって、それが有機的に結び付き、自分なりの文法体系が完成したとき、初めて文法の力がついたと言えるのです。創学舎の授業では、基礎から始めて、数学的明解さで文法体系を構築します。どんな問題にぶつかっても答えを出し、英文を読み解いていくための下地が文法であるという認識に立って、徹底した講義と演習を行うことにより得意分野に変えていきます。

[4] 構文重視

英文を単に日本語に訳すだけでは、英文を読む力はつきません。授業では、なぜその意味になるのかを構造の面から解明、独自の記号により研究します。「何となく読める」の読み方から、「こう読むしかない」という確信を持った読み方へ導きます。

[5] 語彙力(高2・高3)

毎回の授業で単熟語テストを実施し、こちらで採点した上で返却します。一人ではつい中断しがちな分野ですが、粘り強くバックアップします。また、授業でも単語集・熟語集を徹底活用、秘伝の覚え方を伝授します。

[6] 得点力をつける

文法、構文、語彙を固めた後は、いよいよ総合問題での演習です。あらゆる形式の問題にあたり、どうやって解答にたどりつか、分かりやすく講義します。

◆数学◆

[1] 授業進度

数学は学校の進度に合わせて進みます。高校1年生の段階では、まだ数学を受験で使うかどうか分からない人が多いのが実情です。普段の授業が定期テスト対策にもなり、受験の基礎技術修得にも結びつきます。数ⅠAを一年かけて終了します。

高校2年生からは学力別コース編成となります。いよいよ大学受験を目指した授業が始まります。数ⅡBを終了し、3学期途中からⅠA・ⅡBの演習に入ります。

[2] 授業の進め方…魔法はいらない！

数学が苦手な人にとってみれば、高校数学の解き方は魔法のように見えるもの。もちろん、魔法のように見せる解き方もあります。しかし、しっかりと身につけてほしい解き方はそのような解き方ではありません。まず、身につけなければいけないのは、必ず解ける解き方なのです。たとえば、中学の数学と比べて、高校の数学では文字の種類が多くなります。それなら、文字を減らせばいいのです。減らし方は、中学でもやりました。代入法と加減法、これでおしまいです。決してスマートなやり方ではありませんが、必ず解けます。この、必ず解ける方法をしっかりと身につけていくことが、実は数学の原理・原則に結びついています。答案の一行一行には、原理・原則に基づいた意味があります。そして、それを理解するためには当然ながら答案がしっかりと書けなくてはなりません。創学舎では、答案作成もしっかり指導します。答案は、自分の考えが正しいことを採点する人に伝えるものです。そのためには、原理・原則に基づいた論理的な答案を書かなければいけません。そして、それこそが、数学を学ぶ最短コースなのです。

[3] 副教材

新しい考えを身につけるためには、反復練習が不可欠です。数学でいえば、類題の演習が必要です。創学舎では、家庭学習として副教材を指定して、ノートに解いてもらいます。ノートには独特のやり方があります。少し変わっていますが、これこそ、魔法のノートです。ぜひやってみてください。

大学受験部

小中学部で学んだ高校生たちが集う学び舎

高3授業紹介

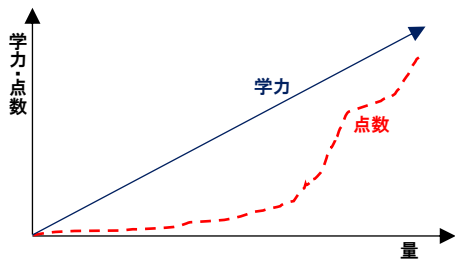
1. 受験勉強を始めるために

- ① 志望学部決定 ② 志望校決定 ③ 受験科目決定 ④ 方法決定

2. 受験勉強のやり方

(1) 原則

- ① 1年間で1600～1800時間は必要 → 10ヶ月とすると1日平均（ 6 ）時間
- ② 早く始めたほうが有利
- ③ 英語、数学は毎日やる
- ④ 2科目でスタート → 全科目同時スタートは100%（ 失敗 ）する
- ⑤ 「部活」をしながらも勉強する → 「部活が終わってから」では（ 遅い ）
- ⑥ 体にしみ込むまでくり返す → 「一回やった」は（ ゼロ ）と同じ
- ⑦ 理解して覚える → 単純丸覚えは（ 忘れる ）
- ⑧ 過去問は10月から徹底して2回くり返す
- ⑨ 定期テスト中も創学舎には通う → リズムを守る
- ⑩ 継続こそ力なり → 中断したら力は落ちる → とりもどすのに（ 同じ時間がかかる ）
- ⑪ 共通テスト対策は10月から
- ⑫ 目標と計画の両方が必要 → 目標だけで計画なしは必ず（ 失敗 ）する
- ⑬ 得点＝能力×意志力×素直さ×情報×時間(回数) *下記参照
- ⑭ 量と学力と点数の関係



正しいやり方で、中断することなく勉強を続ければ、着実に学力は上がる。しかし、点数は一定量をこなして初めて伸び始める。

能力	意志力	素直さ	情報	時間(回数)
人間は不平等。一回でわかる人と何回もやって分かる人の2種類。分からないのはやっていないから。	能力の不足を補うのがこれだ。人並ではダメ。強い意志を持って。	独りよがりには伸びない。適切な忠告、方法を取り入れる素直さは大事。	情報不足は不幸を招く。情報過多も同じ。集めて分析。ムリなら私たちに聞け。	時間は多い方が良い。回数も多い方が良い。但し、集中してやらねばムダ。正しい方法も必要。



(2) やり方《全科目共通》

- ① 科目ごとの勉強法を守る
- ② テキスト＋副教材
- ③ 指示されたもの以外に手を出さない
- ④ 受講していない科目、創学舎で開講していない科目も相談すること

◆英語◆

① 万全の文法力	② 徹底した構文分析	③ 圧倒的語彙力養成
すべての予備校・塾の中で創学舎ほど丁寧に、論理的に文法を教えるところはないと自負しています。	あらゆる英文を読み取るカギは構文の知識と分析力。独自の記号を用いて徹底して鍛えます。	熟語テストと授業の連動により、語彙力を増強。覚え方にはコツがあります。

3月以降入塾の生徒は2年時在籍の生徒と別のカリキュラムになります。英文法と構文を3～8月で終了させ、9月より総合問題に入ります。

[1] 英語学習の柱…文法・構文・単熟語

英語の学力を伸ばすためには、文法、構文、単熟語力の養成がバランスよくなされることが必要です。創学舎では夏期講習前期まで、項目ごとに細分化したテキストで基礎力を養成し、夏期講習後期から、総合問題の得点力を養成するカリキュラムを組みます。

カリキュラムに従って、テキストと副教材を処理していけば、確実に学力は伸びるはずで

[2] 文法体系の完成

予備校の授業は、大量の問題を処理し、その問題ごとに解説を加える形式が中心ですが、これでは本当の文法力はつきません。文法一つ一つの項目について、根本的な理解があって、それが有機的に結び付き、自分なりの文法体系が完成したとき、初めて文法の力がついたと言えるのです。

創学舎の授業では、基礎から始めて、数学的明快さで文法体系を構築します。どんな問題にぶつかっても答えを出し、英文を読み解いていくための下地が文法であるという認識に立ち、徹底した講義と演習で得意分野に変わります。

[3] 構文重視

英文を単に日本語に訳すだけでは、英文を読む力はつきません。授業ではなぜその意味になるかを構造の面から解明、独自の記号により探求します。「なんとなく読める」の読み方から「こう読むしかない」という確信をもった読み方へ導きます。

[4] 語彙力

毎回の授業で単・熟語テストを実施。一人ではつい中断しがちな分野ですが、粘り強くバックアップします。また、授業でも単語集・熟語集を徹底活用、秘伝の覚え方も伝授します。

[5] テキストの処理

(1) 構文

英文を読めるようになるための条件は「自分にとって少し難しめの英文を意味と構造を完全に理解した上で、頭の中で訳を考えながら、構造に注意して徹底して読みこむこと」です。(これを精読と言います)

一度研究した英文は、キミの宝物。まずこれを完全に自分のものにしてください。構文を徹底的に音読・暗記するお手伝いをします。→ 偏差値10はすぐ上がります。

一学期の英文は必ず。夏期講習後期、2学期、冬期講習、3学期の英文については指示に従いましょう。

(2) 文法

自分の知らなかったものを中心に理解して覚えこむ。どれを知らなかったかは授業中にチェックしておくこと。そして、不明のことが出てきたら、とことんまで調べましょう。

問題は、基本から標準まで一通り入っています。8割以上できている項目については、全問1回やり直し、×のみ3回。それ以下の人は全問2回、×のみ3回。半分ぐらいの人は全問4回はやること。そして、大切だと思う問題、どうしてもできない問題は最後にマーカーで大きく印をつけておいて、模試の前、入試の前に1時間でもやり直せるようにしておくこと。

(3) 単語・熟語・テスト

このテストで90点以上とり続けた人は、大体志望校が次善校に合格しています。がんばれ。

しかし、せっかく覚えてもすぐ忘れるという人がいます。これはあたり前のことです。覚えて忘れて、また覚えて忘れて…という作業を繰り返してやっと記憶されるのです。

(4) 総合問題

2年からの在籍生は4月より様々な問題を扱います。解き方を中心として、あらゆる形式に対応できるように指導します。

3年から入塾の生徒は9月より2年時在籍生と合流し、改めてコース編成をし直します。従って、9月より総合問題を扱うこととなります。

大学受験部

小中学部で学んだ高校生たちが集う学び舎

◆数学◆

[1] 数学学習の柱…量と質

一般には「質・量」という言い方をしますが、数学を学ぶ上で大切なことは「量と質」です。まず、ある程度の(人によっては相当量の)量をこなさなければ、絶対に力には身につきません。学校で渡されている問題集はきちんと解いているでしょうか。

量をこなした上で必要になるのが、「質」です。しかし、この質を誤解してはいけません。巷によく言われる「エレガントな」解き方、あるいは「華やかな」解き方ができることだけが「質」ではありません。鈍重でもよいから、問題に対して考える方向を与えること。それを積み重ねてできるだけ適切な方向を与えていくことが「質」であり、真の基礎力でもあります。その意味で、大学入試で合格点を取るために必要な基礎力は、青チャートの参考書で十分身につきます。また、数学は覚えることが少なく、頭を使えば点が取れると思っている人もいるでしょう。しかし、実はそうではありません。数学も暗記科目なのです。定義を覚えることは当然ですが、それだけではありません。代表的な問題の解き方を覚えてしまうのです。そうでなければ、入試の問題を時間内で解くことは難しくなります。

[2] 創学舎の授業

授業は、「数学者を育てる」授業ではありません。「入試を突破する力をつける」授業を行います。1学期の授業では一通り全範囲を復習して基礎的事項の総チェックを行います。夏以降は、より難しい問題演習を行い、別解など視点を変えた説明を豊富に与えます。また、マーク対策も指示します。

授業で扱う問題は解き直しを徹底させ、見たらすぐに解き方が浮かぶようになるまで反復させます。これで、代表的な問題の解き方を覚えさせます。

家庭学習の指導にも力を入れています。量が不足している生徒には、青チャート等の参考書・問題集を指示し、毎日継続してできるように工夫して指導しています。また、授業中にも参考書の参照する場所を指示する等、家庭学習との連携を考えて指導します。

授業に出ることで、数学の勉強がきちんと継続でき、各問題に対する考え方が確実に身につくように教えていきます。

※高3の授業は、**数ⅠAの講座**、**数ⅡBの講座**、**数ⅢCの講座**の3種類を開講しています。

◆数ⅢC◆ (高3の4月から開講)

数ⅢC学習の柱…理解と演習

数ⅢCの中心である微分・積分は系統だった内容なので、ある意味では理解しやすいと言えます。ただし、そのためには数ⅠA、数ⅡBの知識が整理されていることが必要条件となります。方程式・不等式・三角関数・指数関数・対数関数及び数列の知識が必要とされます。このため、数ⅢCの学習をするためには、適宜これらの復習をしなければなりません。授業を通してこれらの知識の整理を行います。

微分・積分の入試問題を解くためには計算力が不可欠です。授業と家庭学習により確固たる計算力を身につけることが必要です。

◆現代文◆ (高3の4月から開講)

[1] 現代文の解答は一つ

現代文の設問は、筆者の主張についてあれこれ質問しているだけであって、読み手の意見が問われているわけではありません。まず、「相手の言っていることが理解できているか」ということだけを出題者が問うているのですから、答えは一つです。小論文では、筆者の主張についてどう思うかということまで問われるので、この場合は、当然、解答は複数です。しかし、現代文は、「筆者が何を言っているのか理解できましたか」と聞いているだけなので、多少、表現の違いはあっても、正答は原則として一つです。

[2] 学習法

現代文は、本質的に暗記科目ではありません。(もちろん、漢字、文学史、語彙などの暗記的要素もあるが)従って、自分の頭で考えるということが非常に重要になってきます。授業を聞く、参考書の解説を読む前に自分なりの「読み」を行い、そのどこがまずかったのかを反省する、ということの繰り返しによって、正答に至る解法を身につけることになります。解答がどのような根拠で、どのように導かれているのかしっかりと覚えなくてはなりません。

ここがしっかりしていないと、いくら問題集をやってもムダです。学習の目的は、問題が解けるようになることです。他の問題に応用できるように、しっかり解法を覚えなければなりません。

◆古文◆ (高3の春期講習から開講)

古文学習の柱…文法と類推

古文は日本語には違いないが、現代の日本語と比べると大きな違いがあります。また、英語と比べると、配点は半分に満たないわりに、難しい問題が出題されます。そこで、より効率的な学習が必要となり、その**第一歩が古典文法**です。

ただ、古典文法を完全に理解すれば古文が読めるようになるわけではありません。読解に必要な文法知識を身につけた後、古文読解の上で大切なものは、文章を読みながら類推していく力です。非常に漠然とした力ですが、類推力を養わなければ助詞や主語の省略に対処しながら読み進めていくことは難しいのです。そして、この力は、実は現代文を読む上でも、英文を読む上でも大切なもののなのです。

◆化学◆（高3の4月から開講）

化学学習の柱…理解と暗記

化学は、理解することが重要となる理論分野と、暗記することが重要な無機・有機の分野の2つに分けられます。単なる計算問題の科目でもなければ、単なる暗記科目でもありません。この2つをバランスよく学習することが大切です。

手順を間違わず、きちんとこなしていけば、偏差値70までもっていける科目です。

◆物理◆（高3の4月から開講）

物理学学習の柱…理解と演習

物理は、理解することが第一。そのためには正しい考え方、やり方で問題を反復して解くことが不可欠です。解けないときは解答を見て納得し、体にしみ込むまで繰り返し解くことが必要です。自己流の解き方は理論的に誤っていることが多いので要注意です。基本的(原則的)な解き方を身につけることに力を注ぐべきです。

単元的にはまず力学。力学ができないことには他の単元の問題も解くことは困難です。逆に言えば、他の単元にもすべて力学が含まれているということ。1学期から夏休みにかけて徹底して力学を学び、身につけることが鉄則です。全精力を力学克服に注ぐこと。

力学と電磁気を押さえてしまえば物理の8割は終了。これだけでも入試に対応できる(共通テストを除く)と言っても過言ではありません。物理の入試の8割は力学と電磁気から出題されるのです。

◆日本史◆（高3の4月から開講）

[1] 日本史学習の柱…理解と暗記

日本史を暗記科目と考え、ひたすら事項暗記に努める受験生は数多くいます。しかし、暗記すべき事項の数は4000項目にのびります。これを覚えてある程度のレベルにもっていくには、気が遠くなるほどの時間を要します。

また、日本史を暗記科目とする考え方は非常に危険です。何千もの項目をひたすら覚えて有機的につないでいけるはずがありません。

[2] 創学舎の授業…最小の時間で最大の効果

日本史は週1回75分×2の授業です。この時間の中で最大の効果をあげるために様々な工夫をしています。その一つが重要事項の覚え方です。生徒に強い印象を与える覚え方が数多くあります。

授業は、流れの理解に重点を置きながら、効率的な覚え方を提示するという形で進め、更に学習法のアドバイスも他の科目と同様に、力を入れています。何をどうやるべきかの提示から始めて、日本史受験生のよき水先案内人となるつもりです。

その他の講座

漢文講座		高3対象	夏期講習より開講
共通テスト現代文講座		高3対象	10月より開講
共通テスト古文		高3対象	10月より開講
共通テスト漢文		高3対象	10月より開講
ブロードバンド予備校			
対象	高1～3	授業形態	パソコン(動画・音声付)を使った個別授業
受講可能科目	高1,2	生物・化学・物理・世界史・日本史・地理・政経・現社・数Ⅲ・英検 等	
	高3	生物・化学・物理・世界史・日本史・地理・政経・現社・数Ⅲ・リスニング・英検 等	
内容	大手予備校のプロ講師が担当します。受講と演習の三段階学習法で実力を要請します。速習にも対応していますから、先取り学習も短期間集中学習もOK。必要な講座を受講してください。 受講日は、基本的に生徒自身の都合に合わせることが可能です。もちろん、集中的に受けて、早めに仕上げるのもよし。また、部活が終わってから追い込むのもよし。非常に有効な学習ツールとなっています。 カリキュラム、受講料等については通常の講座とは別の体系になっています。個別にお問い合わせください。		

小論文講座				
対象	高3	8～10月開講	授業形態	個別の添削指導
内容	小論文ほど一斉授業になじまない科目はないといわれます。講師の解答のレベルが高すぎること、従って、受験生にはあまり参考にならないこと。そして何より、自分の解答がどれくらいの出来で、どうすれば合格点に近づけるのかわからないこと。 創学舎では、受験生のこうした悩みに応えるため、個別指導の講座を開設しています。 推薦入試のための自己推薦文から課題作文、国立二次の本格的小論文までこれ以上はできないと言われるほどの丁寧な指導を行います。 スタッフは、創学舎の講師他、大学教員、研究者、大手予備校講師等、充実のラインナップです。			
速読講座				
対象	高1～3	授業形態	パソコンを使った個別授業	
内容	「速読講座」は右脳活用により集中力を養うという大きな効果が期待できるトレーニングです。 同じ本でも、それを読むのにかける時間は、人によってずいぶん違います。それは、読みのスピードが違うからです。読みのスピードを上げるには目の動き(眼球運動)を滑らかにしなければなりませんし、文章のポイントを要領よくとらえるようにしなければなりません。読みのスピードを上げるためには、眼球運動の訓練と並行して文章内容を把握する訓練が必要です。 速読トレーニングは、文章の難易度に合わせながら、パソコンを利用して、その両方が同時にできるように仕組まれた合理的な訓練法です。 実践的かつ効果的な方法としますます広く使われるようになると思われます。読みのスピードを上げることは、たくさんの本を読む読書法としてきわめて大切なことですが、速読トレーニングは右脳活用により集中力を養うという大きな効果も期待できます。			

個別指導部

お子様との感情のやりとりを大切にする高水準・高品質の個別指導を実現

創学舎パーソナルの特徴

- 講師対生徒＝1対3の個別指導。
- お子様の感情のやりとりを大切にしながら指導します。
- 集中力がなかなか続かない生徒を勇気づけたり、適切なノートの使い方等、細かいところまで丁寧に指導したりしています。
- 設置教室： **パーソナル柏教室**、 **パーソナル我孫子教室**、 **パーソナルおたかの森教室**、 **パーソナル新柏教室**

創学舎パーソナル 4つのポイント

Point1 一人ひとりの生徒に合わせたカリキュラム

- 定期テストの点数を伸ばしたい
- 学校の授業が分からないからその復習をしたい
- 学校の授業よりレベルの高い問題にチャレンジしたい
- 志望校がはっきりしているので対策をしたい
- 弱点科目だけ教わりたい

生徒ごとに目標も目的も異なります。個別指導部では、各生徒の目標・目的に合わせて学習内容を決定し、各生徒の目標に合わせたカリキュラムを組みます。もちろん教材も変えます。また、学習に対する姿勢、取り組み方等も指導します。例えば、鉛筆の持ち方、字の書き方、ノートの使い方等…。もちろん、目標が変わり、受講希望科目や時間に変更になっても対応します。



Point2 個別だから自由に選択

曜日・時間・科目の選択はもちろん、学習内容も個別に設定いたします。集団授業との違いは、自由なところ。生徒それぞれの希望をお聞きして、適切な選択をアドバイスいたします。

Point3 創学舎パーソナルの授業は講師対生徒 1対3

個別指導と一口に言っても、1対1もあれば少人数のグループ指導のようなところもあります。

創学舎パーソナルでは、**講師対生徒＝1対3**で行います。その理由は…

- 授業中には、教わる時間と問題を解く時間があります。そのバランスが保てる最大の人数が1対3。
- なにより、1コマあたりの費用を抑え、**1教科あたり週2コマ**の受講が可能。

では、なぜ**1教科あたり週2コマ**の受講をお勧めするのか。

- 1週間に1回だけの授業では、次回の授業までの時間が空きすぎて、次回の授業のときに復習時間が多く必要。
 - 学習効果を考えると、間を空けすぎない週2回の授業が適切。
- それを可能にするための1対3です。

Point4 無料小テスト

小学生、中学生は毎回の授業で小テストを実施しています。小テストは、ただテストするだけではありません。事前に練習し、その練習の成果を発揮してもらいます。教室ごとに特色ある小テストを実施しますので、ご確認ください。

- 小学生なら → 毎回の漢字テストや計算テスト
- 中学生なら → 漢字テストや単語テスト、英文テスト

創学舎パーソナル 時間割

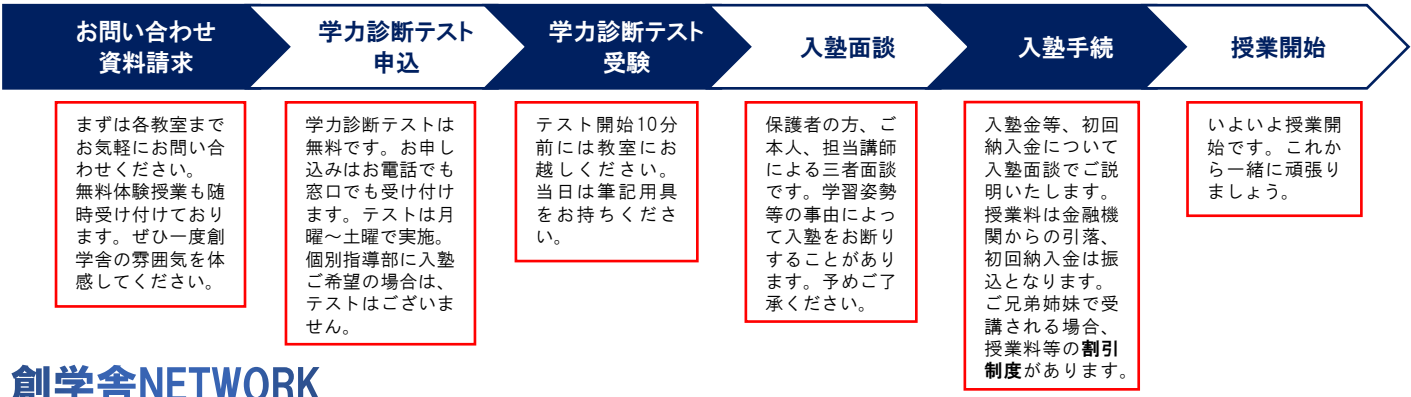
- 1コマ50分。
- 中学生は週2コマ以上の受講をお勧めいたします。
- 月曜日から土曜日のA枠からE枠より選択。
- 3～8月、9～2月で各曜日20週開講。
- 日曜日は休業日となります。

枠	授業時間	月	火	水	木	金	土
A	17:00-17:50						
B	18:00-18:50						
C	19:00-19:50						
D	20:00-20:50						
E	21:00-21:50						

メッセージ

創学舎から皆様へのメッセージ

入塾までの流れ



創学舎NETWORK

小中学部 【お問い合わせ】▶14:00 - 21:00 (日・祝日を除く)		
柏 教 室	〒277-0852 千葉県柏市旭町1-6-5 シマビル3F	☎04(7141)4211
新 柏 教 室	〒277-0084 千葉県柏市新柏1-1510-3 新柏駅前ビル3F	☎04(7162)5112
我 孫 子 教 室	〒270-1151 千葉県我孫子市本町2-2-9 シティプラザ2F	☎04(7181)1221
江 戸 川 台 教 室	〒270-0111 千葉県流山市江戸川台東2-8 青葉ビル2F	☎04(7156)3311
流山おおたかの森教室	〒270-0119 千葉県流山市おおたかの森北1-5-8 リアン302	☎04(7197)7035
大学受験部 【お問い合わせ】▶14:00 - 21:00 (日・祝日を除く)		
大 学 受 験 部	〒277-0852 千葉県柏市旭町1-6-5 シマビル1F	☎04(7141)5101
個別指導部 【お問い合わせ】▶16:00 - 21:00 (日・祝日を除く)		
パ ー ソ ナ ル 柏 教 室	〒277-0852 千葉県柏市旭町1-6-4 島田ビル2F	☎04(7141)1144
パーソナル我孫子教室	〒270-1151 千葉県我孫子市本町2-2-9 シティプラザ3F	☎04(7197)1924
パーソナルおおたかの森教室	〒270-0128 千葉県流山市おおたかの森西1-6-6 ヴェルジールおおたかの森105	☎04(7199)7744
パーソナル新柏教室	〒277-0084 千葉県柏市新柏1-1510-3 新柏駅前ビル3F	☎04(7162)5112



Q&A -皆様の疑問にお答えいたします-

- Q1. 体験授業は無料で受けられますか。
A1. はい、受けられます。創学舎の体験授業は随時受付中。まずは最寄りの教室にご連絡ください。
- Q2. 大学生のアルバイトの先生はいますか。
A2. 集団指導教室の講師は正社員または一部正社員に準じる社会人講師で、大学生のアルバイト講師はいません。(個別指導教室には大学生の講師がいますが、ほとんどが創学舎の卒業生です)
- Q3. 欠席した分は振替や補講はしてもらえますか。
A3. (個別指導部の場合)前日までにご連絡いただければ、振替授業を設定いたします。やむを得ない事情で欠席した場合、できる限りフォローいたします。次回の授業前後の時間を利用したり、別の日に補講をとったりしています。
- Q4. 駐輪スペースはありますか。
A4. はい、ございます。安心して自転車でお通いください。 *流山おおたかの森教室にはございません。ご了承ください。
- Q5. 曜日によって教科は決まっていますか。
A5. はい、決まっています。教室によって時間割が異なりますので、別紙の「講座案内」をご確認いただくか、または最寄りの教室まで直接お問い合わせください。
- Q6. 途中入塾でも授業についていきますか。
A6. 創学舎では途中入塾者に対して、未習部分をフォローするために進捗調整補講やバックアップ講座を設けています。これらを受講することによって、途中入塾であっても無理なく通常授業についていくことができますので、ご安心ください。
- Q7. 夏期講習等、季節講習は必ず受講しなければいけないのでしょうか。
A7. 創学舎では全学年季節講習も含めて1年間のカリキュラムを組んでいます。塾によっては学期ごとの総復習の位置づけで季節講習を行っているところもございますが、創学舎は先に進みます。帰省等どうしても欠席する日が出くる場合はお気軽に教室長にご相談ください。
- Q8. 夏期教室特訓等、オプション講座は受講した方がいいのでしょうか。
A8. 創学舎では必要な時期に応じて、様々なオプション講座を開講しています。苦手分野を克服し模試の得点力向上を目指す「中3夏期教室特訓」や、私立難関校を受験する生徒を対象とした「中3難関私立対策講座」等、非常に有効かつ充実した講座となっていますので、オススメです。
- Q9. 学力診断テストの結果によっては入塾できない場合がありますか。
A9. 学力診断テストでお子様の学力を客観的に診断した結果、集団指導を受けるよりも個別指導の方が適切な場合は、併設している個別指導部「パーソナル教室」をお薦めします。
- Q10. コースはどのようにして決まるのですか。
A10. 入塾時の学力診断テストの結果で決定します。その後、模試等の成績によってコースを再編成しています。

受験体験記

第一志望校合格に向けて精一杯頑張った創学舎の先輩たちが語る、受験生への応援メッセージ

千葉県立船橋高等学校 合格

市川高校, 芝浦工業大学柏高校(GS特待),
専修大学松戸高校(E類), 土浦日本大学高校(Ⅰ種特待) 合格

N・Tくん	新柏教室出身	柏市立第四中学校卒
-------	--------	-----------

僕は志望校の県立船橋高校に合格することができた。それは併願校の市川高校に合格することができたことで自信を持つことができたからだと思う。

僕は市川の入試直前まで過去問で当時の最低点を取ることもできなかった。過去問に載っている解説もわかりづらく、自分で採点ができないところもあった。そこで、創学舎の先生方に採点してもらい、そのたびに先生は僕にアドバイスしてくれた。何度も先生に質問して、解説してもらった。国語や英語では、わからない単語にはマーカーを引き、意味を調べ、その中でとくに重要な単語の意味を先生に教えてもらった。

しかし、そこまでしてもらってもまだ満足できる点数が取れなかった。それでも先生は「無理かもしれない」と一言も言わなかった。「過去問であまり点数が取れなくても、当日受かる人はいる」といって励ましてくれた。だから、当日は落ち着いて問題を解くことができた。気持ちに焦りが出て、自信を失ったとき、**先生の励ましを受験のときの僕にはとても力になった。**創学舎の先生方にはとても感謝している。

千葉県立東葛飾高等学校 合格

専修大学松戸高校(E類), 芝浦工業大学柏高校(GL),
土浦日本大学高校(Ⅰ種特待) 合格

W・Sくん	流山おおたかの森教室出身	流山市立おおたかの森中学校卒
-------	--------------	----------------

創学舎の良いところは、先生一人一人が生徒に寄り添って、質問に答えてくれたり、相談に乗ってくれたりした点です。わからない問題や進路についての質問にいつでも答えてくれました。

そんな創学舎で、私の印象に一番残っていることは入試前に先生からいただいた「問題を解く前に、一度落ち着くと良い」というアドバイスです。これをするだけで、緊張を防ぐだけでなく、問題の把握ができるので、より点数が取りやすくなりました。特に入試本番のときは、このアドバイスのおかげで国語と数学の点数が上がったと思います。

また、創学舎のおかげで苦手科目を克服することもできました。私は社会と理科が苦手で、最初は七割程度しか得点できませんでしたが、入試本番では、それぞれ八割、九割の得点を取ることができました。その理由として、先生方からの勉強法やスケジュールングに関するアドバイスのおかげで、学習時間などを効率的に使うことができ、以前よりも効率よく勉強ができたからだと思います。

創学舎のおかげで一年間勉強を継続し、志望校に合格できました。私にぴったりの良い塾だと思います。

千葉県立東葛飾高等学校 合格

流通経済大学付属柏高校(Ⅰ類) 合格

E・Hさん	パーソナルおおたかの森教室出身	柏市西原中学校卒
-------	-----------------	----------

私は、中3の夏期講習で証明と関数をやりました。私はこの二つが苦手でした。しかし、先生が毎回私の質問に答えてくださったり、解きやすい方法を教えてくださったりしたので、受験のときには、関数を諦めずに解く力がつき、証明は「絶対に解ける」という自信を持ってました。

冬休みに過去問を解いたとき、昨年は40点、一昨年は80点足りず、とても不安で志望校を変えた方がいいのではないかと悩みましたが、私が「もう無理」と言うたびに、「諦めるの？ 大丈夫。頑張ればできる。」と何度も何度も励ましてくださったので、最後まで自分に負けずに頑張ることが出来ました。

国語の作文や2日目の作文も、書いたら添削してくださったので、どちらの作文も時間内に書き終え、満点に近づけることが出来ました。**私が合格できたのは、私の性格を考えて毎日励ましてくださった先生方のお陰だと思っています。**本当にありがとうございます。

千葉県立船橋高等学校 合格

芝浦工業大学柏高校(GS特待), 土浦日本大学高校(Ⅰ種S) 合格

K・Tくん	我孫子教室出身	我孫子市立湖北中学校卒
-------	---------	-------------

私は小学6年生の終わり頃から創学舎に通い始めた。最初は初めての塾ということで、とても不安だったが、先生方がとても優しく、全体的に明るい雰囲気で行ってくださったので、安心して通うことができた。中学校に入学する少し前に入塾したため、精神的にも疲れにくかった。

中学生になってからは勉強量も増えて少し大変になってきた。特に定期**テスト前は何をすればいいかわからなかったが、ワークやテキストの計画を立てて毎回チェックをしてもらうことで、無理なく対策ができた。**

中学3年生に進級すると受験の準備が始まった。副教材でたくさん問題に触れ、基礎の力をつけた。模試や過去問を何度も解いて、わからないものをあぶり出した。また、月末にPDCAシートを記入して、自身の行動を見直したのも良い効果になったと思う。

こうして私は無事に第一志望校に合格できた。創学舎に通っていなかったら勉強の方針が定まらず、合格は叶わなかったかもしれない。改めて、家族や創学舎の先生方に感謝したい。

千葉県立東葛飾高等学校 合格

芝浦工業大学柏高校(GS), 土浦日本大学高校(Ⅰ種特待) 合格

H・Dくん	柏教室出身	柏市立第三中学校卒
-------	-------	-----------

僕は、友人の薦めで2年生の3学期から創学舎に入塾しました。そのとき最も印象に残ったことは数学の授業のスピードが早いことで、学校と違い、感動しました。**授業は、とても力がつき、さらに、おもしろかったので、毎日塾が楽しみでした。**クラスの数が多いので、先生が一人ひとりをしっかり見てくれたことも力がついた理由の一つだと思います。

僕の場合は、5科目の中で国語が一番の苦手科目でしたが、創学舎の授業のおかげで定期テストや模試、本番でいい点数を取ることができました。そして、得意科目だった数学・英語・理科もさらに得点を伸ばすことができたので、良かったです。また、定期テスト前になると勉強会があったので、そのおかげで校内順位をさらに上げることができました。薦めてくれた友人に感謝、そして、創学舎にとっても感謝しています。

千葉県立東葛飾高等学校 合格

専修大学松戸高校(E類), 春日部共栄高校(選抜C特待),
流通経済大学付属柏高校(Ⅲ類) 合格

K・Hさん	江戸川台教室出身	流山市立東深井中学校卒
-------	----------	-------------

私は中学1年生の冬に創学舎に入りました。創学舎の良い点はたくさんありますが、一番は先生方が強く支えてくださったことだと思います。分からないところや不安なところは質問するとすぐに応じてくれて、苦手を放置せずに済みました。また、雰囲気がとても良く、明るかったので、話しかけやすく、精神面でも助けていただきました。

私は模試で第一志望校の判定がDばかりで、入試直前のテストでも目標点に40点以上届いていませんでした。それでも今の高校を受けようと思ったのは、先生方が私の可能性を信じて励ましてくれたからです。

入試の数日前は本当に苦しくて、心が折れそうにもなりましたが、先生方の言葉を信じて、本番も最後までやり切ることができました。私は結果として、第一志望の高校に前期で合格することができましたが、これもすべて創学舎のお陰だと思っています。他の塾に行っている友達の話聞いても、**こんなに生徒の心に寄り添ってくれる場所はなかなか無いと思います。**私の道を切り開いてくださり、ありがとうございます。



創学舎はお子様に高水準・高品質の授業をお届けします

全国模擬授業大会 in 名古屋

全国模擬授業大会

- チョーク1本で教育改革を -

教育の成果を決定する要因は、「本人の自覚」と「先生の力量」と考えます。全国模擬授業大会では「チョーク1本で教育改革を」を合言葉に、授業で最も重要な導入部分について15分間の模擬授業を展開し、学習者本人の自覚を促しながら、十分な理解を導く技術を競い合います。このような先生の力量向上こそが、教育改革の大きな柱であると確信いたします。全国の先生方が、この大会を通して自分なりの教え方日本一をめざすとともに、研修の場として活用していただければ幸いです。(大会主催者挨拶より抜粋)

創学舎は、お子様に高水準・高品質の授業を提供するために、多種多様な勉強会や研究会、模擬授業研修等を行っております。創学舎が毎年この全国模擬授業大会に参加しているのもその一環です。創学舎の講師一人ひとりが、自身の授業力を磨き続け、この力をお子様の成長を支援する力に変えていきます。



2007年	数学部門優秀賞 英語部門努力賞
2008年	英語部門努力賞
2009年	英語部門優勝
2010年	個人戦優秀賞(全国第2位) 英語部門優勝
2011年春	団体戦最優秀賞(全国第1位) 個人戦優秀賞(全国第2位) 国語部門優勝 数学部門優勝 英語部門優勝
2011年秋	英語部門優勝 理科部門優勝
2012年春	団体戦努力賞(全国第3位)
2013年春	個人戦最優秀賞(全国第1位) 団体戦優秀賞(全国第2位) 国語部門優勝 社会部門優勝
2013年秋	数学部門優勝 社会部門優勝
2014年春	団体戦最優秀賞(全国第1位) 個人戦優秀賞(全国第2位) 国語部門優勝
2015年春	団体戦最優秀賞(全国第1位) 個人戦優秀賞(全国第2位) 理科部門優勝
2016年春	個人戦優秀賞(全国第2位) 英語部門優勝
2023年春	団体戦準優勝(全国第2位) 個人戦優秀賞(全国第2位) 社会部門優勝
2023年秋	個人戦優秀賞(全国第2位) 国語部門優勝
2024年春	個人戦最優秀賞(全国第1位) 団体戦準優勝(全国第2位) 社会部門優勝
2024年秋	個人戦優秀賞(全国第2位) 国語部門優勝



AGATHOS Co.,Inc.



本部 〒277-0852 千葉県柏市旭町1-6-5 シマビル1F
TEL04-7141-5101/FAX04-7141-5106 <https://sougakusya.com/>